

北川の通信

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2016年10月8日

vol. 114

おだやかな秋
待ってる 号

10/16(日)清流復活 北川グリーンアップに参加を！



▲水抜きで乾燥化し周囲の雑草が侵入、昨年(右写真)と様変わり

菖蒲田の水抜きでカエルの繁殖への甚大な影響を危惧！

ここ北山公園が東村山では最後の生息地であると推測される、希少種のトウキョウダルマガエル。この繁殖には産卵からオタマジャクシの時期まで、水田のような水環境の存在が必要です。北山公園では、これまでトウキョウダルマガエルなどの希少種が繁殖することのできる菖蒲田の水環境が維持されてきました。

ところが、今年は6月の「菖蒲まつり」終了後、早々に多くの面積の菖蒲田の水が抜かれました。水が抜かれた原因は、東屋に近い菖蒲田の一番東側の1枚について菖蒲の株分け（来年以降の花付きをよくするための株分け）をするために水が抜かれたとのことですが、菖蒲田の構造上、東屋側の連続した7枚もの菖蒲田も水が抜かれてしまったのです。水が抜かれた時期はトウキョウダルマガエルの繁殖の時期でもあり、



繁殖に甚大な影響があったと危惧しているところだ。

この問題について、9月3日に開催された「北山公園整備計画等意見交換会（市主催）」の場で活発な議論が行

われたところですが（9月4日付かっぱブログを参照）、その後、北川かっぱの会の有志で質問事項と要望事項をまとめ、市に提出しました。

市への質問事項としては、①特定の葛蒲田1面の株分けを行うために、なぜその1面だけ水を抜かずに周囲7面にもわたる葛蒲田の水を抜くことになったのか、その原因について教えてほしいこと、②立派な葛蒲の花を咲かせることを優先し続けてきたことが、大量の化学肥料の投入による土壌の劣化を招き、結果として葛蒲の栽培方法に無理なしわ寄せがいつているのではないかという点について実情を教えてほしいこと、③7月上旬に北川かっぱの会のメンバーが現地を確認したところ、水路にはたくさんの水が流れていたものの、7面以外の葛蒲田も含めた葛蒲田全面に水がなかったが、その原因は何だったのか教えてほしいこと、をあげています。

市への要望事項としては、①水を抜く田面を限定することや水を抜く時期を遅らせるなど株分けの計画を見直すこと、②一面ごとに水を抜くことができるよう水路の改善について計画し、予算を確保（長期にわたる改修を覚悟し、場合によってはボランティアの活用を検討）すること、③バックヤードに葛蒲田と同等面積の湿地を創出する案とする場合には、湿地が出来上がってトウキョウダルマガエル等の希少種の生息が確認できるまでは、7面にもわたるような葛蒲田の水抜きを前提とした株分けは行わないようにすること、④「葛蒲まつり」だけではなく、一年を通じて人が来もらえる公園にするにはどうしたらいいのか、希少種が保全されていることが大前提で、その上で葛蒲も楽しむことのできる北山公園であるべきではないか、など点について今後の意見交換会の中で議論を深めていくこと、をあげています。

北川かっぱの会では、今後、市と相談しながら改善策等について検討していきたいと考えています。

トウキョウダルマガエル





2016年10月～12月 活動スケジュール

ホは**ボランティア募集**の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/12、12/10(土) **ホ**

集合：北山小正門前

秋の北川クリーンアップ **ホ**

10/16(日) 10:00-12:00 北山小西
側大関橋、精心幼稚園北・将陣場
橋、宅部遺跡橋または水道橋集合。
河川とその周辺の清掃。長靴、手
袋など作業ができる服装で。雨天
中止。終了後、北山公園で

外来生物慰霊祭

市民普請大賞最終選考

11/23(祝) 10-16時 土木学会講堂
(新宿区四谷 1 丁目外堀公園内)

小学校土曜講座 **ホ**

富士見・南台小 野鳥観察

11/5(土) 午前：東村山中央公園、
午後：空堀川。雨天中止

かつぱ定例会

11/5(土) 17:00-18:30 (茫々亭)
来年3月頃までの活動予定を中心
に検討をします。

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

10/15 (第3土曜) 13:30 ～

10/19 16:00 ～

11/6 (第1日曜) 9:00 ～

畑にて維持管理作業と収穫、樹木手入れ

報告 土曜講座「落合川にいこう」

南台小・富士見小と北山小の合同の土曜講座で行っている落合川に行
てきました。今年も清流に浸かり、みな川ガキになってきました。

●北山小学校の古川由子さんから感想文をいただきました。――



落合川に川遊びをしに行きました。一人で参加したので最初はド
キドキしていましたが、川を見るとだんだん楽しみになってしまし
た。そしてボランティアの方に魚のとり方を教わったあとに実際に
とってみると大きなシマドジョウがとれました。ほかにもザリガニ
をつかまえたり、小さな魚をた
くさんつかまえて、ふだ
んできないことができてとても
楽しかったです。

最初は一人だったけどあそん
でるうちにはほかの小学校の新しい友達
ができました。とても楽しい一日でした。

―― (北山小六年 古川由子) ―



野蚕（やさん）

夏休みの恒例「夜の昆虫観察会」が、市の八国山たいけんの里主催で行われています。この観察会の目玉はライトトラップです。真っ暗な林の中で大きな布をライトで照らし、集まってくる昆虫たちを観察しますが、私には毎年密かに待ち焦がれてる昆虫がいました。



今年も開始後、少しずつコガネムシの仲間や小型のガの仲間などがやって来ましたが、しばらくした頃、突然バサバサと音がして大きなものが飛び込んで来ました。ついに現れました。インパクトたっぷり、ライトトラップの主役とも言える10cmを超える大きなガ、ヤママユです。ヤママユは野蚕（やさん）＝野生の蚕（カイコ）の一種で、黄緑色のまゆから高級な絹糸が取れることで知られています。八国山ではまれにまゆを見ることがありましたが、やっと成虫に会うことができました。姿は私たち世代にはお馴染みのまさにモスラです。子供たちも親御さんたちも、さすがこの観察会の参加者は、ヤママユを見ても恐がりません。それどころか、背中を触ってウサギのようにふわふわだと言ってる女の子すらいました。

夜の昆虫観察会は、何がやって来るかわくわく楽しませてくれます。（ビー永島）



報告 第21回 北山わんぱく夏まつり

8月7日(日)、北山わんぱく夏まつりです。カヌー、北川ウォーク、ザリガニ釣り、ウシガエル捕獲大作戦、水族館、昆虫標本展示、虫取りハイク、紙芝居に、草笛など、今年もにぎやかに、楽しく開催しました。

カヌーは、小学生以上を対象に、北川ウォークでは幼児は保護者が付き添うことに、虫取りハイクは午前中に変更しました。変更点は表向きこの3点ぐらいですが、準備段階で大幅に体制見直しをしました。

それは、昨年の夏まつりが発端です。参加してくれた人たちに、こちらの意図が伝わっていなかったり、スタッフの人繰りがつかなかったり、問題が噴出してしまいました。今年の開催はムリかもと頭をよぎるほどです。

北山わんぱく夏まつり実行委員会の事務局は、5,6月はその名のとおりの事務作業に追われ、体制を整えることがむづかしい点がまず問題でした。そこで、今年は、早い段階から実行委員会を開催、各出し物ごとのチーフを決め、チーフを中心に準備を進めました。

参加者へ意図を伝えるという点では、カヌーを小学生以上にしたのもひとつです。これまでは幼児が多く、自力で漕げないケースが目立っていました。「自分たちで遊ぶ」という観点から幼児の乗船を断り、小学生以上としました。結果はうまくいったと思います。

最大の試みは、「北山わんぱく夏まつり宣言」です。開催の意図を積極的に参加する人たちに伝えました。『自然にどっぷりとつかり、自分の責任で楽しく遊ぼう!』という宣言の中に私たちの思いを集約させました。

今回実施したのは、開催者から参加者へ一方通行の告知です。しかし、私は保護者の方たちから、夏まつりについて、北山公園などについて、イロイロと質問を受けました。私たちが思いを明確にしたことで、両方向のコミュニケーションの糸口が生まれています。危機状況を察知してくれたのでしょうか。新たに手を貸してくれる人たちも現れました。ほんとうに多謝です。

今年も反省すべきところはあります。しかし、次の開催はできるのだろうか?という後ろ向きではありません。来年もまた、北山わんぱく夏まつりで会いましょう。(はんべえ)



編文人の紙芝居を見つめる子どもたち

報告 北山小土曜講座 「八国山虫取りハイク」



去る 7 月 16 日、今年も毎年恒例の虫取りハイクが行われました。

早朝 5 時に北山小学校の正門前に集合し、総勢 31 人の子供たちは夜が明けたばかりの八国山緑地へと元気に向かいました。例年ですが、我々虫取りハイクの掟（オキテ）では、「カブトやクワガタなどの獲物は第一発見者に権利がある」と決めています。そうしないと、体力のある高学年の子が断然有利になり、低学年の子たちは何もつかまえない事になってしまいます。子供たちはきちんとこの「オキテ」を守ってくれました。

ここ数年、毎年のように樹液の出る樹が枯死しています。幹から細かい木屑が無数に出て枯れているのですぐにわかります。調べてみると外来種のカシノナガキクイムシによる害のようで、ナラ枯れと呼ぶそうです。この虫に狙われた木は 2 ～ 3 年で枯れてしまいます。そのためか樹液で出るポイ

ントが変わっています。ハイクの予定は約 2 時間程度で、途中ほっこり広場で持参した朝食を食べました。今年も子供たちの生きいきとした虫取りまなこの輝きで早朝の八国山が賑わいました。前日の雨のせいか樹液の出が良くないようでしたが、幾分かカブトムシやクワガタに出会えたようです。来年も行こうね！（中谷）

報告 北山小土曜講座 ヤゴいかだづくり

9/10（土）にヤゴいかだづくりの土曜講座が北山小プールで行われました。好天の中、子ども 24 名、保護者 9 名、スタッフ 4 名の参加となりました。

スタッフが去年のいかだを補修し、子ども達が雑草やわらを探って来て、その上に乗せました。トンボの産卵場所が少なくなっているの、プールへ誘致、産卵を促して、来春のヤゴ救出作戦に



つなげようという取り組みです。

まだ夏の暑さが残る1日でしたので、子ども達はいかだと一緒にプールに足を浸したり、体を浸したりする子もいて、楽しく心に残る活動となったようです。

いかだの浮かぶプールには、早速トンボが数匹、様子を伺いつつ飛んで来ました。来春、たくさんのトンボが見られますように！（藤）

報告北山小土曜講座

北川の魚と生きものを のぞいてみよう

9月22日（土）の午前中、北川で、‘がさがさ’（魚とり）を楽しみました。児童22名、その兄弟6名、保護者11名が参加し、人気がある講座です。かっぱの会からは講師・スタッフ4名。



直前の記録的大雨でかなり出水があったことと、いつもより水かさがあることで、生き物がいるか、子どもが安全に歩けるか心配しましたが、ヌマエビ類とアメリカザ

リガニ沢山と、ヨシノボリ、モツゴ、タモロコなどが子どもたちの網に入ってくれ、元気な川ガキの声が北川に戻った時間となりました。10歳ぐらいのとても大きな雌のトウキョウダルマガエルも捕れてみんなびっくり！！これからも長生きしてねと放流しました。やっぱり北川は面白いね。（久・康）

報告 南台・富士見小土曜講座・自然 と遊ぼう「北川にいこう」



9月17日（土）、南台・富士見小学校の土曜子ども講座で北山公園を訪れました。午前中がトンボとり、午後は北川で魚とりです。昨年までは、講師担当だけだったかっぱの会ですが、今年は見守りサポーターにもメンバーが参加。かっぱ総がかりで開講しました。

アカトンボが減ってるな、いつも思うのですが、今年は極端にいなかったようです。午後の魚とりでも漁獲量？が少なく、特に恒例の「みんなで投網」で、まったく獲れなかったのは初めてです。

魚のほうは、ここ数日の雨で増水、たまたまいなかったと思うのですが、アカトンボはどうしちやったんでしょうか？

そんな中でも子どもたちは目を輝かせて、トンボや魚たちを追いかけていました。(はんべえ)

ご寄付に深謝

片山秀世様

ありがとうございました。

北川かつぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2 両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』
A2 両面版の生き物ミニ図鑑と解説。
観察会などイベントで無償配布。

NEW! 『北川・八国山・北山公園
いきものマップ』
かつぱの会 20 周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2 両面版。

●発行:北川かつぱの会 連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

インフォメーション

北川かつぱの会 会議日程

11/5(土) 17:00 ~ 18:30 (茫々亭)
3頁参照

かつぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000 円
支援会員：2 年間で 2000 円
学生は 2 年間で 1000 円
「かつぱ通信」年 5 回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かつぱの会
●かつぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

●編集後記 今年も夏から秋にかけて自然災害が多かったように思う。この東村山でも 8 月下旬に 100mm という記録的豪雨があり土砂崩れで電車は不通になるし、川は氾濫したとか。日本中どこも災害の可能性があるのだ。日本の自然の多様性とは、激しい変化があることをしめているのだろうか。改めて自然には逆らえないことを思う。(遊星歯車)

